

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



財団法人滋賀県文化財保護協会
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage

季刊 **みる・きく・ふれる 文化財**

おうみ文化財通信

vol. **7**
2011 Spring

Information of Cultural Heritage in OHMI

【調査課速報】

米原市清滝 ^{のうにんじ} 能仁寺遺跡

京極高詮菩提寺の 実態が明らかに！



■能仁寺遺跡は、京極氏歴代当主の墓石を集めた清滝寺徳源院の南隣の谷筋にあります。

能仁寺は第7代当主京極高詮(1352～1401)の法名に現れる寺で、寛文12年(1672)に徳源院が整備されるまではここに墓があったと考えられています。

発掘調査は平成20年度に始まり、今年度の調査で室町時代前期の寺院跡が見つかり、能仁寺跡と考えられます。本堂跡は一部の礎石しか残っていませんが、基壇・山門・参道などの遺構がそろっています。参道脇には14m以上にわたる石垣が築かれ、城石垣に先行する石垣として注目されます。また、基壇の南西には庭が作られていたようで、香炉を添えて板で蓋をした土坑が、その下層からは池跡が見つかりました。

中世寺院としては小規模ですが、清滝寺をはじめ、近江の守護大名である京極氏の墓所群の一端を明らかにする貴重な遺跡です。

調査した能仁寺遺跡の全景

左後方に見えているのは清滝寺徳源院の三重塔です。寛文12年(1672)に讃岐丸亀藩主であった京極高豊が建てたもので、県指定文化財になっています。

寺院裏手の中世墓地(右)

見つかった寺院の裏手には、それより古くから中世墓地が形成されていたようです。ここから石積み基壇の上に並べていた5基の五輪塔が見つかりました。五輪塔はいずれも倒壊した状態で出土しましたが、倒壊した五輪塔を立て並べ復原しました。



もっと詳しい情報は👉

能仁寺遺跡の現地説明会資料は当協会ホームページ
(<http://www.shiga-bunkazai.jp/>) からダウンロードできます。

【京極氏略系図】氏信―宗綱―貞宗―宗氏―高氏(道誉)―高秀―高詮―高光―持高(持光)―高教―持清―勝秀―高清―高峰―高秀―高次(後略)

連続講座「琵琶湖をめぐるひと語り・もの語り」

■平成23年度の連続講座「もの知り学」の受講生を募集します。今年度のシリーズは全8回。当協会の文化財調査員が、発掘調査や、日頃の研究で培ったナマの情報と成果をわかりやすく皆様にお伝えします。

昨年度シリーズは好評をいただき、早々に満員御礼となりました。ぜひ、お早めにお申し込みください。

定員：100名（応募者多数の場合は先着です。）
受講料：4,000円（全8回一括前納、年間パス・修了証付き）
会場：滋賀県立図書館大会議室

申込方法：お電話で下記までお申し込みください。
財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課 連続講座係
☎ 077-548-9780

*受付時間 8:30～17:15 土日祝祭日除く

**①お名前、②電話番号、③ファックス番号、④ご住所を承ります。

締め切り：4月22日（金）17:15

*なお、定員になり次第締め切ります。

受講者募集中



画像をつかってわかりやすくお伝えします。

◆各回の日時と内容（*各回とも13:30～15:30。タイトル・講師は予定です。）

第1回/平成23年 5月14日（土）「謎の女王 卑弥呼とその時代」（伊庭功）

第2回/平成23年 6月4日（土）「時代の変革者 継体大王とその時代」（辻川哲朗）

第3回/平成23年 7月2日（土）「古代の最先端技術者 「秦」氏とその時代」（堀真人）

第4回/平成23年 8月6日（土）「比叡山開祖 最澄とその時代」（大沼芳幸）

第5回/平成23年 9月3日（土）「大仏建立 聖武天皇とその時代」（大道和人）

第6回/平成23年10月1日（土）「近江源氏 佐々木一族とその時代」（小竹森直子）

第7回/平成24年 1月7日（土）「戦国の天主 織田信長とその時代」（岩橋隆浩）

第8回/平成24年 2月4日（土）「革新する和風庭園 秀吉・利休とその時代」（重田勉）

*会場の滋賀県立図書館へのアクセス

■公共交通機関利用の場合

JR東海道本線（琵琶湖線）の「瀬田」駅下車。帝産バスまたは近江バス「滋賀医大」行に乗車（約10分）、「文化ゾーン前」下車、徒歩5分。（バス料金200円）

■お車の場合

【1号線利用の場合】瀬田駅前交差点を文化ゾーン方面に折れ、約2km。名神高速道路陸橋を渡ってすぐの交差点を左折、約600m。文化ゾーン前交差点を右折。

【京滋バイパス利用の場合】一里山四丁目交差点を文化ゾーン方面に折れ、約800m。名神高速道路陸橋を渡ってすぐの交差点を左折、約600m。文化ゾーン前交差点を右折。

【名神高速利用の場合】草津田上インターチェンジを降り信号を左折、文化ゾーン方面へ。文化ゾーン前交差点を左折。

【トピックス】イオンモール草津店で文化財イベント開催しました！

発掘された琵琶湖の文化2 「戦国ぶろぐー近江城物語ー」

■発掘された琵琶湖の文化2「戦国ぶろぐー近江城物語ー」を2月11～13日にイオンモール草津で開催しました。昨年に続く、第二弾です。滋賀県で発掘調査された遺跡や遺物を、地元の方々にもっと身近に感じてほしいとの願いからスタートしました。

今回のイベントは、戦国時代に「ぶろぐー」日記をつけていたならばという設定で、発掘調査で出土した資料にさまざまな視点からアプローチしてみました。

最近のお城人気やNHK大河ドラマの影響も手伝って、多くの方々に来場していただきました。訪れた方々は、当時に使われてきた本物の遺物を間近に見ながら、調査員の解説に耳を傾けていただきました。

私たちは、これからも地域の歴史を五感で感じるイベントとして続けていきたいと考えております。次回もぜひご期待ください。



会場には、たくさんのお客様にお越しいただきました。ありがとうございました。



文化館のホームページをご存じですか？

■琵琶湖文化館は、平成20年度から休館中ですが、館外での展示や講座を開催しています。また、文化財の調査研究や貸出、保存や修理に関する相談といった業務などを幅広く行い、滋賀の文化財保護・啓発のために活動を続けています。

「建物はあるけれど、一体今は何をしているのだろう」と、不思議に思っておられる方、是非一度、当館のホームページをのぞいてみてください。継続して行われている博物館活動や、近江の文化財について、わかりやすく紹介しています。

琵琶湖文化館

で 検索

もしくは <http://www2.ocn.ne.jp/~biwa-bun/> で！



【淡海のたからもの】

文化館の所蔵品を紹介するコーナー。絵画や書跡典籍、歴史資料、仏像彫刻、仏画、工芸品などを、詳しい解説とともに紹介しています。文化館ならではのバラエティにとんだ文化財を、多数掲載しているところがポイントです！



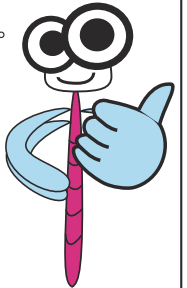
【写真集】

四季折々の風景と大津の浮城「琵琶湖文化館」がコラボする癒しの風景～皆さんからいただいた投稿写真を紹介しています。



【あきつブログ】

文化館が行っている博物館活動の紹介や、日々のお仕事など、職員自らが書き綴る「あきつブログ」。文化館の活動を分かり易くお伝えするためにマスコットキャラクターとんぼの「あきつ君」も、活躍中です！
お見逃しなく！！



【埋文センター通信】 考古学体験学習リーフレットを作りました！ いろいろな体験学習の秘訣が丸わかりです。

■滋賀県埋蔵文化財センターでは、小中学生を対象に、いろいろな体験学習を行っています。このたび、体験学習のリーフレットが完成しました。鍛冶体験・草木染め・石器作りの3つの体験をわかりやすく解説しています。

県内の小中学校等に配布するほか、埋蔵文化財センターでも配布しています。

今年も、たくさんの体験学習メニューを用意しています。また、文化財通信や当協会ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。

古代の鍛冶職人に学ぼう
～ナイフ作りに挑戦～編



古代人の狩人に学ぼう
～石器作りに挑戦～編

古代のファッションデザイナーに学ぼう
～草木染めに挑戦～編

埋文センター体験学習のご案内は

<http://www.shiga-bunkazai.jp/>



【イベント情報】

みる・きく・ふれる <4~6月>



■財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-548-9780/(FAX)077-543-1525

日程	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
5/14(土)	13:30~15:30	講座 平成23年度連続講座 文化財もの知り学2011 「謎の女王 卑弥呼とその時代」	100	予約	4000*	滋賀県立図書館大会議室
6/4(土)	13:30~15:30	講座 平成23年度連続講座 文化財もの知り学2011 「時代の変革者 継体大王とその時代」	100	予約	4000*	滋賀県立図書館大会議室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

*全8回分一括申込、前納です。

■滋賀県立安土城考古博物館主催事業■ 問合せ先：(TEL)0748-46-2424/(FAX)0748-46-6140

日程	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
3/29(火)~ 4/24(日)	9:00~17:00 (入館16:30まで)	展示 特別公開「平成22年度新指定文化財」	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 第2常設展示室
4/23(土)~ 6/12(日)	9:00~17:00 (入館16:30まで)	展示 第2回滋賀・大阪博物館連携企画 平成23年度春季特別展「大岩山銅鐸から見えてくるもの」	無	不要	特別展 料金	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室
4/23(土)	13:30~	講演 スライド発表会「観音寺城最新情報」	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
4/26(火)~ 6/5(日)	9:00~17:00 (入館16:30まで)	展示 テーマ展「摺見寺所蔵名品展」	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 第2常設展示室
4/29(金:祝)	10:30~15:00	体験 春のお茶会	100	不要	300	滋賀県立安土城考古博物館 エントランスホール
5/3(火:祝)	13:30~15:00	講演 特別展記念講演会「大岩山銅鐸から見えてくるもの」(仮) 講師:難波洋三氏(奈良文化財研究所)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
5/4(水:祝)	10:00~16:00	体験 第19回親子写生大会	100	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館
5/5(木:祝)	10:00~ 13:30~	体験 体験博物館「勾玉をつくろう!!」	各30	要*	500	滋賀県立安土城考古博物館 多目的広場
5/8(日)	13:30~15:00	講座 博物館講座「大岩山銅鐸の埋納をめぐる問題」(仮) 講師:木戸雅寿氏(滋賀県教育委員会)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
5/15(日)	13:30~15:00	講座 博物館講座「初期ヤマト政権と近江」(仮) 講師:寺沢 薫氏(奈良県立橿原考古学研究所)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
5/22(日)	13:30~	体験 体験博物館「銅鐸を視察してみよう」	未定	要*	未定	滋賀県立安土城考古博物館
5/29(日)	13:30~15:00	講演 特別講演会「大岩山銅鐸の発見」(仮) 講師:水野正好氏(奈良大学名誉教授)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
6/5(日)	13:30~15:00	講座 滋賀・大岩山銅鐸イベントセミナー「豊穡をもたらす響き 銅鐸-銅鐸からみる弥生中期社会-」 講師:正岡大実氏(大阪府立弥生文化博物館)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
6/12(日)	13:30~15:00	講座 博物館講座「大岩山銅鐸と東海」(仮) 講師:進藤 武氏(野洲市教育委員会)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
6/22(水)~ 7/3(日)	9:00~17:00 (入館16:30まで)	展示 第19回親子写生大会 作品展示	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.azuchi-museum.or.jp>

*予約が必要なイベントは1カ月前から予約受付を開始します。

新刊
案内【トピックス】 当協会設立四〇周年記念号。いつもよりボリュームアップしています!
『紀要』第24号を刊行しました。

■本年も、当協会職員の日頃の研究成果をまとめた『紀要』を刊行しました。設立40周年記念号として、いつも以上にボリュームアップしています。近年注目を集めた相谷熊原遺跡をめぐる3本の論考を小特集としてまとめたほか、全17本の論考を掲載。ぜひ御一読ください。



新刊

紀要 第24号

一財団法人滋賀県文化財保護協会設立四〇周年記念号一

財団法人滋賀県文化財保護協会編 ISSN 2185-341X
A4判並製本 166頁 価格1200円(税込・送料別)

【収録論文】

【小特集】東近江市相谷熊原遺跡をめぐる一縄文時代草創期の遺構と遺物
「矢柄研磨器」雑考-相谷熊原遺跡を理解するために-(松室孝樹)
鈴鹿山中の遺跡にみる選地の原理-相谷熊原遺跡の理解にむけて-(重田 勉)
土偶の機能・用途に関する理解の移ろい(瀬口眞司)

* * *

高島市弘川B遺跡出土の縄文土器(2)(小島孝修)
草津市志那湖底遺跡出土の岩田第4類土器群の様相(小竹森直子)
近江・湖東北部の埴輪(辻川哲朗)
製鉄炉の設置方法について-源内峠遺跡1号製鉄炉の検討-(大道和人)
古代建築物構造ノート-掘立柱再考-(横田洋三)
塩津起請文札と勧請された神仏(濱 修)
三重県桑名市西方廃寺出土の飛雲文軒瓦について(中西常雄)
観音正寺と観音寺城跡(2)(伊庭 功)
遺跡出土の化粧道具に関する覚書-夏見城遺跡出土の毛抜きから-(堀 真人)
将棋史研究ノート(5)「金将」の役割-金将の動きと配置から-(三宅 弘)
「忍者」研究の現状と課題(阿刀弘史)
文化遺産としての琵琶湖
-「水」を介した人類と自然との永続的共生を示す資産群-(大沼芳幸)
平成22年度滋賀県埋蔵文化財センター考古学体験学習を終えて(具志堅有紀)
保存処理30年の記録(中川正人)

お問い合わせ・お申し込みは☛ 財団法人滋賀県文化財保護協会
総務課 (077-548-9780)

●本誌の掲載情報は平成23年4月1日現在のものです。諸般の事情により内容などが変更される場合がありますので、お出かけの際はご確認ください。また、当協会が主催する各種イベントや刊行物等の各種情報は、ホームページ上に随時更新し、掲載しております。あわせてご覧下さい。

☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>